

# COC+

Center of Community Plus

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

未来の山梨をつくる若者を地域でサポート。  
ツリーズム、ものづくり、子育て支援、CCRC。

## オールやまなし11+1大学と 地域の協働による未来創生の推進

山梨大学  
山梨県立大学  
山梨学院大学  
身延山大学  
山梨英和大学  
大月短期大学  
山梨学院短期大学  
帝京学園短期大学  
横浜市立大学  
都留文科大学  
健康科学大学  
帝京科学大学

 文部科学省  
地(知)の拠点

平成28年度  
事業  
報告書



# 目次

- 1 学長あいさつ
- 2 事業概要
- 3 全体構成
- 4 やまなし未来創造教育プログラム概要
- 5 地域教養
- 6 ツーリズムコース
- 7 ものづくりコース
- 8 子育て支援コース
- 9 CCRCコース
- 10 平成28年度やまなし未来創造教育プログラム授業科目一覧
- 12 事業全体の取組
- 14 地域教養取組
- 16 ツーリズムコース取組
- 18 ものづくりコース取組
- 20 子育て支援コース取組
- 22 CCRCコース取組
- 24 FAAVOやまなし
- 25 情報発信への取組

## ごあいさつ



事業責任大学

国立大学法人 山梨大学

学長 島田 眞路

平成27年度に、5カ年にわたる文部科学省補助事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されました。

テーマとなる「オールやまなし11+1大学と地域の協働による未来創生の推進」は、山梨県内の全11大学に横浜市立大学を加え、山梨県内の19自治体と15団体等の協働により、山梨県の人口の自然減・社会減と産業力の低下という課題を解決し、学卒者の地元定着と新たな雇用を創出することを目指しております。

平成28年度は本事業が本格的にスタートし、5つの幹事大学（山梨大学、山梨県立大学、山梨学院大学、山梨英和大学、帝京学園短期大学）を中心に「ツーリズム」、「ものづくり」、「子育て支援」、「CCRC（生涯活躍のまち）」及び「地域教養」分野の新たな教育科目群による「やまなし

未来創造教育プログラム」の開講と8つの参加大学間での「単位互換」を実施しました。また、「バーチャルLAB」における教育プログラムの充実の検討、「みらいサロン」における大学と地域との対話、各種セミナー、ワークショップの開催、及び「クラウドファンディング」による新規事業化の支援等の取組を実施してまいりました。

本書は、これらの取組の詳細を広く一般にご覧頂くために、「平成28年度事業報告書」として取りまとめましたのでございますので、ご一読頂ければ幸いです。

今後も、本事業の目的を達成するため、事業責任大学を中心に、各事業協働機関との連携を密にしながら地方創生に取り組んでまいりますので、本事業への更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

# COC+

*Center of Community Plus*

### 1 組織

県内の全11大学と県外1大学、自治体、  
団体等の連携による地の拠点形成

### 2 教育

大学間連携による「未来創造  
教育プログラム」の提供  
とオンデマンド配信

### 3 雇用創出

「バーチャルLAB」と「みらいサロン」による  
教育プログラムの充実と新規事業化支援

### 4 若者定着

「インターンシップ」や「フューチャーサーチ」  
などによる就職マッチングの強化

山梨県は、少子・高齢化の進行や若年層の流出などの問題に直面しています。本事業は、県内の全大学と地域機関が協働し、若者に魅力ある就職先を地域で創出・開拓するとともに、実践的な地域志向型人材を育成することで、学卒者の地元定着を促進し、地域の未来創生に繋げることを目的とします。

具体的には、首都圏に位置し豊かな自然環境を有する本地域の価値を基盤に、今後成長が期待される「ツーリズム」、「ものづくり」、「子育て支援」及び「CCRC (Continuing Care Retirement Community・生涯活躍のまち)」の4つのテーマを中心に、新規事業化による雇用創出を図ります。さらに、山梨県内に立地する11の大学・短期大学及び横浜市立大学が連携し、新規事業分野と連動した実践的教育カリキュラム及びインターンシップを行うことにより、学生が本地域への愛着や地元企業への理解を深めることを通じて、学卒者の地元定着を図ります。

本事業は、平成27年度から5カ年にわたり、文部科学省の補助事業として行われます。

### 文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)とは…

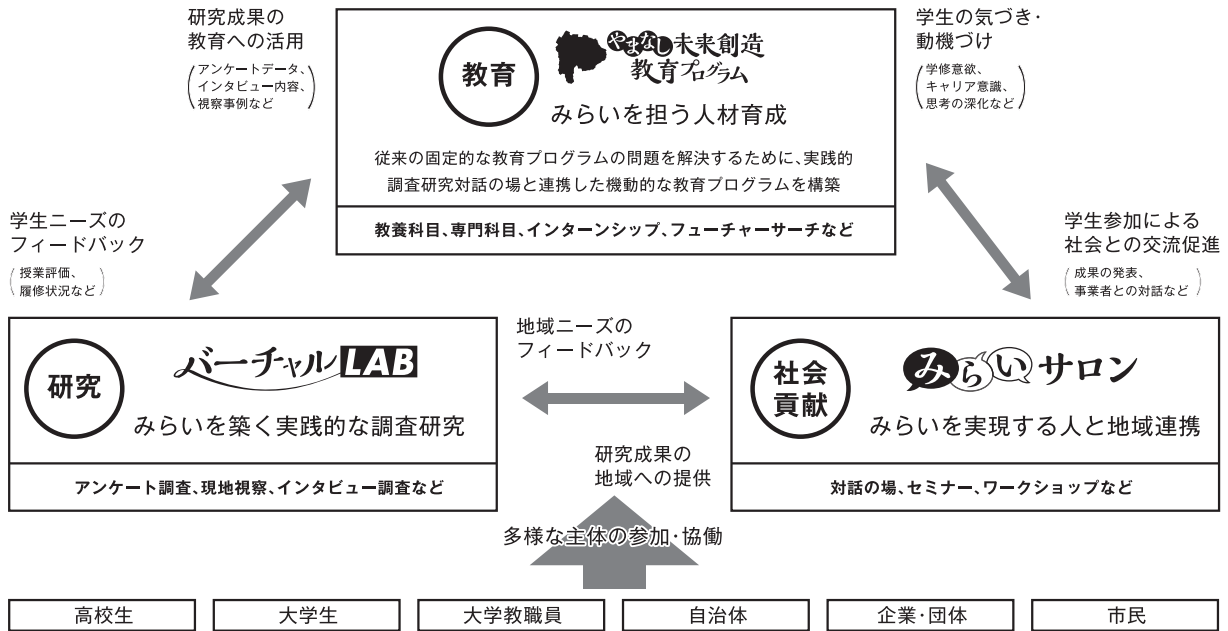
文部科学省では、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」を実施します。

文部科学省COC+サイト [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/coc/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/)



# 全体構成

## 教育プログラム・バーチャルLAB・みらいサロンの関係



### 事業責任大学

山梨大学  
(COC大学)

### 事業協働地域

山梨県

### 参加・協力大学

(県内全11大学+大都市圏内1大学)

【参加大学】  
山梨大学(COC大学)  
山梨県立大学(COC大学)  
山梨学院大学  
身延山大学  
山梨英和大学  
大月短期大学  
山梨学院短期大学  
帝京学園短期大学  
横浜市立大学(COC大学)

### 【協力大学】

都留文科大学  
健康科学大学  
帝京科学大学

### 参加自治体

(1県、18市町村)

山梨県  
甲府市  
富士吉田市  
山梨市  
大月市  
韮崎市  
南アルプス市  
北杜市  
甲斐市  
笛吹市  
上野原市  
甲州市  
中央市  
市川三郷町  
身延町  
富士川町  
道志村  
山中湖村  
富士河口湖町

### 参加等団体・法人

(15団体等)

山梨県市長会  
山梨県町村会  
山梨県商工会議所連合会  
山梨県中小企業団体中央会  
山梨県商工会連合会  
山梨県経営者協会  
やまなし産業支援機構  
山梨県機械電子工業会  
やまなし観光推進機構  
山梨県医師会  
山梨県農業協同組合中央会  
山梨中央銀行  
山日YBSグループ  
連合山梨  
山梨県高等学校長協会

# やまなし未来創造 教育プログラム

本地域の新たな価値創造に資する幅広い知識と豊かな感性を育むとともに、本地域の新たな未来の創造に資する人材養成のため、新たに4つのコースから成る「やまなし未来創造教育プログラム」を設置しました。

## 未来を創る「力」を育む

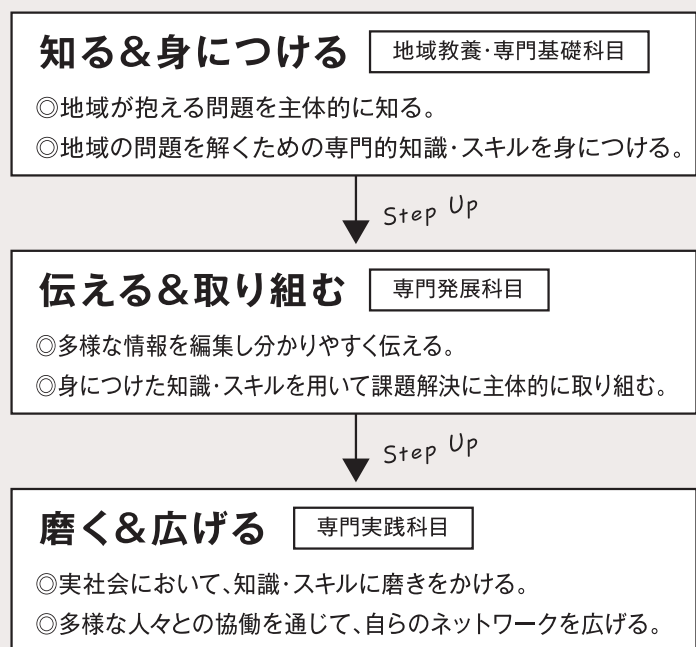
今日の地域・社会が直面する課題に取り組むことを通じて、自ら新しい未来を切り開くことの出来る創造的人材を育成します。

### コースは4つ



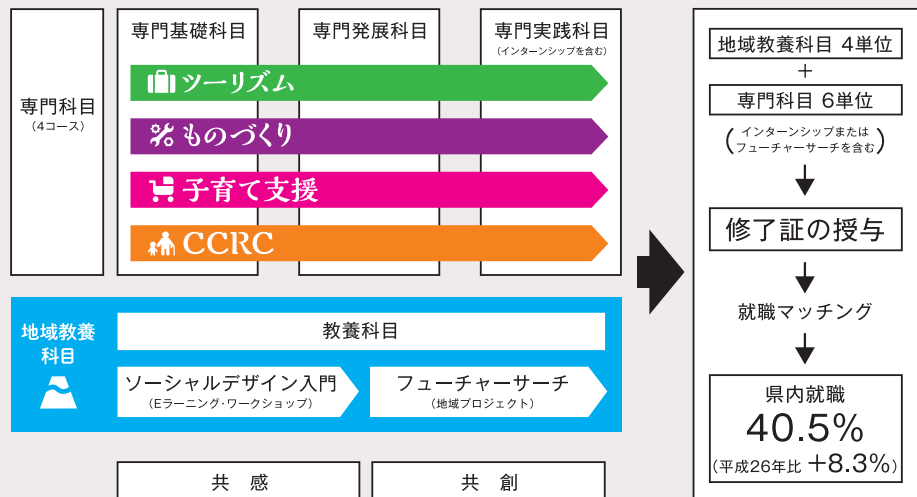
※「CCRC」とは、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような「生涯活躍のまち」づくりのことです。

## 段階的に育む「力」



## 身につけた「力」の証

地域教養科目4単位以上及び専門科目6単位以上（インターンシップまたはフューチャーサーチを含む）を修得した学生に本教育プログラムの「修了証」を授与します。



やまなしを深く知る科目(講義・演習)

参加大学	科目名	担当教員	単位	期間
山梨県立大学	日本語の方言と山梨★	吉田 雅子	2	前期
	ものづくりデザインの基礎★	山本 隆司	2	後期
	環境論★	箕浦 一哉	2	後期
	山梨学Ⅰ★	波木井 昇 川池 智子 小尾 栄子	2	前期
	山梨学Ⅱ★	興水 達司	2	後期
山梨大学	ソーシャルデザイン入門★	二戸 麻砂彦	2	集中
	山梨学	尾藤 章雄	2	集中
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	日永 龍彦	2	後期
	ボランティアとサービスマーケティング	大和田 浩二	2	前期/後期
	アウトドアアパズーツⅠ	川村 協平	2	前期
	医療の最先端	北村 健一郎	2	前期
	日本語表現の現在	長谷川 千秋	2	後期
	現代美術入門	井坂 健一郎	2	後期
	サッカー文化学	加藤 朋之	2	後期
	大学基礎ゼミ	各教員	2	前期/後期
	人間形成論	各教員	2	前期
	大学生のエンプロイアビリティ論	各教員	2	後期
	キャリア形成のための作文演習	後藤 賢次郎	2	前期
	キャリア形成論	各教員	2	前期/後期
	新聞から世界を読む	各教員	2	H28 非開講
	消費生活論	神山 久美	2	前期
	ワインと宝石★	田中 功 他	2	前期
	ワイン製造及び体験実習	岸本 宗和	2	集中
	クリスタルサイエンス	田中 功 他	2	後期
	住まいの地方性	田中 勝	2	前期
	都市計画	武藤 慎一 他	2	後期
	自然災害と都市防災★	鈴木 猛康 他	2	前期
	死生学入門	中村 和彦	2	前期
	考古学について	萩原 三雄	2	前期
	日本古代の政治と文化	大隅 亜希子	2	後期
	環境政策の展開	喜多川 進	2	H28 非開講
	経済学の目で見ると	宇多 賢治郎	2	後期
	現代教育政策論	日永 龍彦	2	前期
	自然に対する子どもの眼差し	松森 靖夫	2	後期
	資本市場の役割と証券投資	鈴木 保任 他	2	前期
	生活トラブルと法	大山 盛義	2	前期
	発達と障害	古屋 義博	2	後期
	加工学Ⅰ	萩原 親作	2	後期
	環境生態学	森 一博	2	後期

参加大学	科目名	担当教員	単位	期間
山梨大学	これからの機械技術	鳥山 孝司 他	2	前期
	水圏植物の生物学	芹澤 如比古	2	後期
	乳から見える世界いろいろ	谷本 守正 他	2	集中
	電力伝送工学	清弘 智昭 他	2	前期
	理系女性のキャリア形成	風間 ふたば 他	2	前期
	社会における看護と介護	浅川 和美	2	後期
	社会の中の医療・医学	香川 知晶	2	後期
	食物科学入門	望月 和樹	2	後期
	フューチャーサーチ★	坂本 康 佐藤 文昭 澤 伸恭	2	集中
	山梨学院大学	やまなし学★	永井 健夫	2
富士山と観光★		古屋 亮	2	前期
観光と自然保護★		古屋 亮	2	後期
異文化コミュニケーション★		原 百年	2	後期
女性とキャリア形成★		今井 久	2	前期
身延山大学	山梨県と峡南地域★	望月 真澄	2	集中
	身延町の福祉文化★	池上 要靖 植木 博之	2	前期
山梨英和大学	山梨学a	杉山 歩	1	1Q
	山梨学b	杉山 歩	1	2Q
	山梨学c★	杉山 歩	1	3Q
	山梨学d★	杉山 歩	1	4Q
	縄文文化と山梨★	長澤 宏昌	1	4Q
	地域づくりの理論と実践★	鞆打 大輔	1	3Q
	分権システム論★	神山 玄太	1	1Q
山梨学院短期大学	山梨の自然★	望月 一二	2	前期
	くらしと情報★	本長 健介	2	後期
	ビバレッジⅠ★	小牧 康伸	1	前期
	ビバレッジⅡ★	小牧 康伸	1	前期
	サブカルチャーとメディア★	青柳 宏幸	2	後期
帝京学園短期大学	自然観察★	五味 達也	2	通年
	児童館の機能と運営★	里見 達也	2	前期
大月短期大学	大月学入門★	塙 武郎	2	前期
	地域ビジネス論★	佐藤 茂幸	2	後期

★は単位互換科目を表す。

地域の資源や課題に直接触れ、自ら行動する単位互換2科目

ソーシャルデザイン入門

山梨県立大学開講科目(集中科目)

インタビューやフィールドワークを通じて地域資源の魅力や地域の課題、地域で活躍する人の想いに触れることにより、地域の新たな未来をデザインしていくための「種」を見つける。

- 科目概要**
- ◎eラーニング(オンデマンド配信)
  - ◎ワークショップ
  - ◎フィールドワーク
  - ◎プレゼンテーション

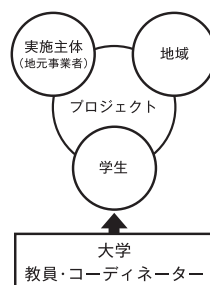
フューチャーサーチ

山梨大学開講科目(集中科目)

地元事業者と学生の協働により地域における実際のプロジェクトに参加することを通じて、地域や自らの未来とその可能性について考える。

プロジェクトの場づくり、プロジェクトと学生のマッチング、プロジェクト実施支援、コーディネートなど

- プロジェクト例**
- ◎クラウドファンディングサイト「FAAVOやまなし」起案プロジェクト支援
  - ◎イベントなどの企画運営
  - ◎中小企業の情報発信支援
  - ◎ロボットアプリなどの制作



幹事大学 | **山梨学院大学**

参加大学 | 山梨大学、山梨県立大学、大月短期大学、  
山梨学院短期大学、横浜市立大学

対象者 | 山梨県内の観光関連産業への就職に関心のある学生



## コースの目的

各参加大学の保有する教育研究資源をネットワーク化することによるシナジー効果を最大化し、各自治体が取組む地方創生総合戦略を人材育成の面から支援するとともに、実践的な地域課題解決型学習の成果を学生に還元し、卒業時の観光関連産業における地元定着率の向上を図る。

## 想定される就業先(インターンシップ先)

旅行代理店、ホテル、旅館、土産品店、ミュージアム、道の駅等の施設

## 履修モデル

★は単位互換科目を表す。  
※科目名の( )は、単位数を表す。

大学名	科目名				
	履修年次				
	(短大)1年次	2年次	2年次～卒業後		1年次～2年次
	(大学)1年次	2年次	2年次～4年次		3年次～4年次
	専門基礎科目		専門発展科目	専門実践科目(インターンシップ)	
山梨大学	観光政策科学概論(2)★	観光産業論(2)★ 観光経営論(2)★ 観光政策論(2)★		観光地域計画論(2)★ 地域共生デザイン(2)★	インターンシップI(1)★ インターンシップII(1)★
山梨県立大学	地域実践入門I(1) 地域実践入門II(1) 国際政策入門(国際ビジネス観光)(2)	地域実践演習I(1)★ 地域実践演習II(1)★	観光まちづくり概論(2)★ 観光実務(2)★ 山梨の観光(2)★ 観光政策論(2)★ 国際観光まちづくり論(2)★ 地域観光情報論(2)★	地域理解演習I(2)★ 地域理解演習II(2)★ 国際政策課題演習I(2)★ 国際政策課題演習II(2)★	インターンシップ(1)
山梨学院大学	①観光・ホスピタリティ概論(2)★	①ホスピタリティ論(2)★ ②地域課題総合研究(2)★ ②地域経営論(2) ③観光産業論(2)★	④ツーリズム・マネジメント(2)★ ①宿泊産業論(2)★ ①③宿泊産業経営論(2)★ ①③フードビジネス・マネジメント(2)★ ③ソーシャルビジネス(2)★ ①ビジネス・コミュニケーションII(2)★ ①ホスピタリティサービス論(2)★ ①ビジネス・コミュニケーションI(2)★	②③ツーリズム論(2)★	④観光・ホスピタリティ実践(4) ④インターンシップ(2)
大月短期大学	地域実習(体験)(1)	地域実習(応用)(1)★		地域実習(提言)(2)★	インターンシップA(1)★ インターンシップB(2)★
山梨学院短期大学		③ホテルサービスI(1)★ ③ホテルサービスII(1)★			

①観光とホスピタリティの基礎を学ぶ科目 ②地域課題の発見と問題解決能力を身につける科目 ③観光関連の地域産業を学ぶ科目 ④地域インターンシップにより実践的に学ぶ 〇横浜市立大学は、山梨県内大学の開講科目の中で、歴史ある建物を保存するなどの歴史をいかしたまちづくりや、文化芸術で都市や地域を活性化するまちづくりなどの分野で講義や実習の担当、横浜の事例見学のコーディネート等に協力。

# ものづくり

幹事大学 | 山梨大学

参加大学 | 山梨県立大学

対象者 | ものづくりに関心のある学生



## コースの目的

①高度な研究・技術開発能力を持って知識基盤社会を支え、②地域の文化、歴史、社会構造、経済問題等を熟知し、③俯瞰的視野からものづくり産業をリードできる、実践的な地域指向型人材を育成する。

## 想定される就業先(インターンシップ先)

電子・デバイス、鉄鋼・非鉄金属・金属、業務用機械などの製造業、印刷および情報通信業など

## 履修モデル

★は単位互換科目を表す。  
※科目名の( )は、単位数を表す。

大学名	科目名				
	履修年次				
	(短大)1年次	2年次	2年次～卒業後	1年次～2年次	
	(大学)1年次	2年次	2年次～4年次	3年次～4年次	
	専門基礎科目		専門発展科目	専門実践科目(インターンシップ)	
山梨大学	①、②実践ものづくり実習(1～) ①情報メカトロニクス工学実習I(2)	①～⑤キャリア形成実習1(1～) ①～⑤キャリア形成実習2(1～) ①機械加工及び実習(2) ①ものづくり実習I(1～) ①ものづくり実習II(1～)	①機械加工及び実習(2)	①～③キャリア形成実習3(1～) ①～③キャリア形成実習4(1～) ②リーダー養成特別インターンシップ1(1～) ③～⑤リーダー養成特別実習1(1～) ③～⑤リーダー養成特別実習2(1～) ③～⑤PBLものづくり実践ゼミ(2)	⑥県内ものづくり企業等でのインターンシップ(1～)

- ①ものづくりに関するデザインの素養を修得する科目
  - ②地域の文化、歴史、産業を深く知る科目
  - ③研究、起業の企画・実施・評価のPDCAサイクルを体験する科目
  - ④人間力、プレゼン力、コミュニケーション力、企画力、交渉力などリーダーとしての能力を磨く科目
  - ⑤専門分野の問題発見・課題解決を身につける科目
  - ⑥県内ものづくり企業等でのインターンシップ
- 専門実践科目(インターンシップ)については、今年度開講科目なし。

# 子育て支援

幹事大学 | 帝京学園短期大学

参加大学 | 山梨県立大学、山梨英和大学

対象者 | 主に資格取得見込者  
(保育士・幼稚園教諭・栄養士・調理師・臨床心理士・公認心理師)



## コースの目的

地域の子育ての現状や課題を踏まえ関係者(保育者・保護者など)の支援・連携を図ることのできる専門的力量を備えた子育て支援者の育成を行い、新たな就労先・雇用先の開拓につなげる。

## 想定される就業先(インターンシップ先)

子育て支援者: 県内の各企業及び保育所や幼稚園、認定こども園、児童センター、児童館、放課後児童クラブなど子育て支援関連施設への派遣、自治体の子育て支援担当部署

## 履修モデル

★は単位互換科目を表す。  
※科目名の( )は、単位数を表す。

大学名	科目名				
	履修年次				
	(短大)1年次	2年次	2年次～卒業後	1年次～2年次	
	(大学)1年次	2年次	2年次～3年次	3年次～4年次	
	専門基礎科目		専門発展科目	専門実践科目(インターンシップ)	
山梨県立大学			②保育相談支援(2)★		
山梨英和大学		②乳幼児心理学(2) ②カウンセリング概論(2)	②発達障害の心理学(2)	③子育て支援実践演習(2)★	④子育て支援施設でのインターンシップ(1)
帝京学園短期大学	①家庭支援論(2)★				

- ①乳幼児の心理や子育て支援の基礎知識を身につける科目
  - ②子育てを指導・助言・サポートできる能力を学習する科目
  - ③課題発見、問題解決能力を身につける科目(起業意識者対象)
  - ④子育て支援施設でのインターンシップ
- 専門発展科目と専門実践科目(インターンシップ)については、次年度以降開講予定。



幹事大学 | **山梨英和大学**

参加大学 | 山梨県立大学、身延山大学、山梨学院短期大学、横浜市立大学

対象者 | 特に限定しない  
(参加大学のすべての学生の中でCCRCの理念に興味を示し、これを学ぶ意欲がある学生が対象となる)



### コースの目的

山梨の地域性と課題をよく理解し、人間文化学・看護学・社会福祉学・都市工学などを土台とし、サービスサイエンスやサービスイノベーションを活用しながら、都市部の潜在的移住希望者に強く訴え、移住を推進できる人材を育成し、新たな雇用先・就職先を開拓、及びサービスの高度化を図る。

### 想定される就業先(インターンシップ先)

観光・サービス業、自治体NPO、看護・福祉領域(高齢者支援施設など)、それぞれにおけるサービスの高度化

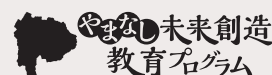
### 履修モデル

★は単位互換科目を表す。  
※科目名の( )は、単位数を表す。

大学名	科目名				
	履修年次				
	(短大)1年次	2年次	2年次~卒業後	1年次~2年次	
	(大学)1年次	2年次	2年次~3年次	3年次~4年次	
	専門基礎科目		専門発展科目	専門実践科目(インターンシップ)	
山梨県立大学	①生活健康科学(2)	①人間発達援助論(2)		②認知症ケア論(1) ②老年看護学(2)★	
身延山大学		①地域福祉論(2)★ ①地域福祉の理論と方法I(2)★ ①地域福祉の理論と方法II(2)★		②地域福祉実践(2)★ ③地域福祉演習(2)★	④インターンシップI(2)★ ④インターンシップII(2)★ ④インターンシップIII(2)★ ④インターンシップIV(2)★
山梨英和大学	①山梨の地場産業I(2)★	①ローカルツーリズム論(1) ①山梨の地場産業II(1) ①サービスラーニングII(2)★ ①山梨の地場産業III(1) ①地域企業の経営論(1)	①高齢者の心理と健康(2)	②サービスサイエンスとCCRC(2) ③地域コミュニティPBL(1)	④CCRCインターンシップ(2)
山梨学院短期大学	①社会生活と健康(2)★ ①ライフスタイルと健康(2)★	①環境と健康(2)★		③CCRC実践演習(2)	④CCRCインターンシップ(2)

- ①山梨の地域性を知り、コミュニケーション能力を学習する科目。人間文化学・看護学・社会福祉学・都市工学など専門基礎科目
- ②各専門においてサービスサイエンスやサービスイノベーションを活用の可能性を展開する科目
- ③CCRCや地域福祉に関する実践演習(PBL)
- ④CCRC関連業界(観光・サービス・自治体・NPO・医療・福祉など)におけるインターンシップ
- ◎横浜市立大学については、山梨県内大学の開講科目の中で、CCRCに効果的な街づくりや多世代共生コミュニティの街づくりなどの分野で講義や実習の担当、CCRCの実践演習科目の共同開発に協力。

# 平成28年度 やまなし未来創造教育プログラム 授業科目一覧



🏠 ツーリズム    🍷 ものづくり    👶 子育て支援    🏠 CCRC    🗺️ 地域教養

※科目名の●印は、単位互換科目を示す。

大学名	コース名	コース科目属性	科目名	担当教官	単位	期間	
山梨大学	ツーリズム	専門基礎	●観光政策科学概論	田中 敦・菊地 淑人	2	後期	
		専門基礎	実践ものづくり実習	古屋 信幸・孕石 泰丈	1	前期	
	専門基礎	実践ものづくり実習	古屋 信幸・孕石 泰丈	1	後期		
	専門基礎	情報メカトロニクス工学実習I	寺田 英嗣・平 晋一郎・石田 和義	2	後期		
	専門基礎	キャリア形成実習1	各教員	1	前期		
	ものづくり	専門基礎	キャリア形成実習2	各教員	1	後期	
		専門基礎	機械加工及び実習	教育主任・孕石 泰丈	2	前期	
		専門基礎	機械加工及び実習	孕石 泰丈	2	前期	
		専門基礎	ものづくり実習I	萩原 親作・孕石 泰丈	1	前期	
		専門基礎	ものづくり実習II	萩原 親作・孕石 泰丈	1	後期	
		専門発展	キャリア形成実習3	各教員	1	前期	
		専門発展	キャリア形成実習4	各教員	1	後期	
		専門発展	リーダー養成特別インターンシップ1	各教員	1	通年	
		専門発展	リーダー養成特別演習1	各教員	1	前期	
		専門発展	リーダー養成特別演習2	各教員	1	後期	
		専門発展	PBLものづくり実践ゼミ	古屋 信幸・孕石 泰丈 他	2	後期	
		専門発展	PBLものづくり実践ゼミ	古屋 信幸・孕石 泰丈 他	2	後期	
		専門発展	PBLものづくり実践ゼミ	古屋 信幸・孕石 泰丈 他	2	前期	
		地域教養	なし(教養)	山梨学	尾藤 章雄	2	集中
			なし(教養)	山梨大学から見る大学の歴史と現在	日永 龍彦	2	後期
			なし(教養)	ボランティアとサービスマーケティング	大和田 浩二	2	前期
			なし(教養)	ボランティアとサービスマーケティング	大和田 浩二	2	後期
			なし(教養)	アウトドアバサーツI	川村 協平	2	前期
	なし(教養)		医療の最先端	北村 健一郎	2	前期	
	なし(教養)		日本語表現の現在	長谷川 千秋	2	後期	
	なし(教養)		現代美術入門	井坂 健一郎	2	後期	
	なし(教養)		サッカー文化学	加藤 朋之	2	後期	
	なし(教養)		大学基礎ゼミ	各教員	2	前期/後期	
	なし(教養)		人間形成論	各教員	2	前期	
	なし(教養)		大学生のエンプロイアビリティ論	各教員	2	後期	
	なし(教養)		キャリア形成のための作文演習	後藤 賢次郎	2	前期	
	なし(教養)		キャリア形成論	各教員	2	前期	
	なし(教養)		キャリア形成論	各教員	2	後期	
	なし(教養)		消費生活論	神山 久美	2	前期	
	なし(教養)		●ワインと宝石	田中 功 他	2	前期	
	なし(教養)		ワイン製造及び体験実習	岸本 宗和	2	集中	
	なし(教養)		クリスタルサイエンス	田中 功 他	2	後期	
	なし(教養)		住まいの地方性	田中 勝	2	前期	
	なし(教養)		都市計画	武藤 慎一 他	2	後期	
	なし(教養)		●自然災害と都市防災	鈴木 猛康 他	2	前期	
	なし(教養)		死生学入門	中村 和彦	2	前期	
	なし(教養)		考古学について	萩原 三雄	2	前期	
	なし(教養)		日本古代の政治と文化	大隅 亜希子	2	後期	
	なし(教養)		経済学の目で見ると	宇多 賢治郎	2	後期	
	なし(教養)		現代教育政策論	日永 龍彦	2	前期	
	なし(教養)		自然に対する子どもの眼差し	松森 靖夫	2	後期	
	なし(教養)		資本市場の役割と証券投資	鈴木 保任 他	2	前期	
	なし(教養)		生活トラブルと法	大山 盛義	2	前期	
	なし(教養)	発達と障害	古屋 義博	2	後期		
	なし(教養)	加工学I	萩原 親作	2	後期		
なし(教養)	環境生態学	森 一博	2	後期			
なし(教養)	これからの機械技術	鳥山 孝司 他	2	前期			
なし(教養)	水圏植物の生物学	岸澤 如比古	2	後期			
なし(教養)	乳から見える世界いろいろ	谷本 守正 他	2	集中			
なし(教養)	電力伝送工学	清弘 智昭 他	2	前期			
なし(教養)	理系女性のキャリア形成	風間 ふたば 他	2	前期			
なし(教養)	社会における看護と介護	浅川 和美	2	後期			
なし(教養)	社会の中の医療・医学	香川 知晶	2	後期			
なし(教養)	食物科学入門	望月 和樹	2	後期			
なし(教養)	●フューチャーサーチ	坂本 康・佐藤 文昭・澤 伸恭	2	集中			



大学名	コース名	コース科目属性	科目名	担当教官	単位	期間
山梨県立大学	ツーリズム	専門基礎	●地域実践入門Ⅰ:吉田	吉田 均	1	集中
		専門基礎	地域実践入門Ⅰ:兼清	兼清 慎一	1	集中
		専門基礎	●地域実践入門Ⅱ:吉田	吉田 均	1	集中
		専門基礎	地域実践入門Ⅱ:兼清	兼清 慎一	1	集中
		専門基礎	国際政策入門(国際ビジネス観光)	吉田 均 他11名	2	前期
		専門基礎	●観光実務	吉田 均・八代 一浩	2	後期
	子育て支援	専門基礎	●保育相談支援	多田 幸子	2	後期
	CCRC	専門基礎	生活健康科学	小田切 陽一	2	後期
	地域教養	なし(教養)	●日本語の方言と山梨	吉田 雅子	2	前期
		なし(教養)	●モノづくりデザインの基礎	山本 隆司	2	後期
		なし(教養)	●環境論	箕浦 一哉	2	後期
		なし(教養)	●山梨学Ⅰ	波木井 昇・川池 智子・小尾 栄子	2	前期
		なし(教養)	●山梨学Ⅱ	奥水 達司	2	後期
		なし(教養)	●ソーシャルデザイン入門	二戸 麻砂彦	2	集中
山梨学院大学	ツーリズム	専門基礎	●観光・ホスピタリティ概論	数住 伸一	2	前期
		専門基礎	●観光産業論	数住 伸一・立石 貴子	2	前期
		専門基礎	●ホスピタリティ論	立石 貴子	2	前期
		専門基礎	●ホスピタリティサービス論	立石 貴子	2	前期
		専門基礎	●ビジネス・コミュニケーションⅠ	立石 貴子	2	後期
		専門基礎	●地域課題総合研究	日高 昭夫・今井 久	2	後期
		専門基礎	地域経営論	日高 昭夫	2	後期
		専門基礎	●ツーリズム・マネジメント	免澤 義信	2	後期
		専門基礎	●宿泊産業論	黒沢 直樹	2	前期
		専門基礎	●宿泊業経営論	黒沢 直樹	2	後期
		専門基礎	●フードビジネス・マネジメント	数住 伸一	2	後期
		専門基礎	●ソーシャルビジネス	曾根原 久司	2	後期
		専門基礎	●ビジネス・コミュニケーションⅡ	立石 貴子	2	前期
		専門発展	●ツーリズム論	内田 二郎	2	前期
	専門発展	観光・ホスピタリティ実践	数住 伸一	4	通年	
	専門発展	インターンシップ	外川 伸一・大高 瑞郁	2	通年	
	専門発展	インターンシップ	金子 勝一	2	通年	
	地域教養	なし(教養)	●やまなし学	永井 健夫	2	通年
		なし(教養)	●富士山と観光	古屋 亮	2	前期
		なし(教養)	●観光と自然保護	古屋 亮	2	後期
なし(教養)		●異文化コミュニケーション	原 百年	2	後期	
なし(教養)		●女性とキャリア形成	今井 久	2	前期	
CCRC	専門基礎	●地域福祉の理論と方法Ⅰ	高木 寛之	2	前期	
	専門基礎	●地域福祉の理論と方法Ⅱ	高木 寛之	2	後期	
地域教養	なし(教養)	●山梨県と峡南地域	望月 真澄	2	集中	
山梨英和大学 ※当大学は「クォーター制」を導入しています。	子育て支援	専門基礎	●乳幼児心理学	佐柳 信男	2	1Q
		専門基礎	●カウンセリング概論	高橋 寛子	2	3Q
		専門基礎	●発達障害の心理学	森 稚葉	2	1Q
	CCRC	専門基礎	●山梨の地場産業Ⅰ	水上 篤	1	2Q
		専門基礎	●サービスラーニングⅡ	黒田 浩司	2	1Q・2Q
	地域教養	なし(教養)	山梨学a	杉山 歩	1	1Q
		なし(教養)	山梨学b	杉山 歩	1	2Q
		なし(教養)	●山梨学c	杉山 歩	1	3Q
		なし(教養)	●山梨学d	杉山 歩	1	4Q
		なし(教養)	●縄文文化と山梨	長澤 宏昌	1	4Q
		なし(教養)	●地域づくりの理論と実践	鞍打 大輔	1	3Q
		なし(教養)	●分権システム論	神山 玄太	1	1Q
		なし(教養)	サービスラーニングⅠA	黒田 浩司	2	2Q
		なし(教養)	サービスラーニングⅠB	佐柳 信男	2	2Q
なし(教養)		サービスラーニングⅠC	韓 暁宏	2	2Q	
CCRC		専門基礎	●社会生活と健康	田草川 憲男・樋川 隆	2	前期
	専門実践	●ライフスタイルと健康	田草川 憲男	2	後期	
	なし(教養)	●山梨の自然	望月 一二	2	前期	
	なし(教養)	●くらしと情報	本長 健介	2	後期	
	なし(教養)	●ビバレッジⅠ	小牧 康伸	1	前期	
	なし(教養)	●ビバレッジⅡ	小牧 康伸	1	前期	
帝京学園短期大学	子育て支援	専門基礎	●家庭支援論	里見 達也	2	後期
	地域教養	なし(教養)	●自然観察	五味 愛美	2	通年
なし(教養)		●児童館の機能と運営	里見 達也	2	前期	
大月短期大学	ツーリズム	専門基礎	地域実習(体験)	塙 武郎・佐藤 茂幸	1	後期
		専門実践	●インターンシップA	進路支援室	1	前期
	地域教養	なし(教養)	●大月学入門	塙 武郎	2	前期
なし(教養)		●地域ビジネス論	佐藤 茂幸	2	前期	

## 平成28年度 第1回やまなし地方創生会議

平成28年7月11日

会 場 ホテル談露館

参加者 大学、自治体、企業・団体の代表者等 合計81名

この会議は、平成27年9月に文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として採択された「オールやまなし11+1大学と地域の協働による未来創生の推進」事業の協議の場で、県内8大学及び横浜市立大学、19の自治体、15の団体・法人・企業で構成されています。

今回は、各機関から代表者が出席し、昨年度の事業報告と今年度の事業計画に基づく今後の連携の在り方について活発な意見交換が行われました。



## 第1回 やまなし暮らし・しごとMiraiサロン(COC+参加自治体意見交換会)

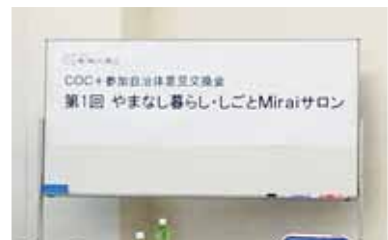
平成28年12月15日

会 場 JA会館6階中会議室

参加者 自治体、大学、企業・団体等 合計21名

各自治体より地方創生にかかる取組状況と今後の課題について報告いただき、大学より、幸福度からみた山梨に対するニーズや地域の現状と課題について説明があり、参加者間で、地域コミュニティや移住者の増加に伴う様々な問題などについて活発に意見が交わされました。

また、今年度より甲府市との連携により実施している「こうふフューチャーサーチ普及促進事業」について説明があり、次年度以降、県内他自治体への連携拡大の可能性について意見交換を行いました。



## バーチャルLAB

平成28年5月20日(地域教養)、  
11月9日(地域教養)、  
平成29年1月19日(CCRC)、  
2月2日(子育て支援) 全4回

会 場 山梨県生涯学習推進センター、山梨県立図書館、山梨県立大学

参加者 教職員:20名、企業・団体:6名 合計26名

デザイン思考のプロセスに基づいて、各テーマが対象とする人(観光客、事業者、子育て世代、高齢者及び県民全般)にスポットを当て、多様な調査手法を活用して人々が生活において直面している特定の専門分野の枠を超えた新たなニーズや課題などを明らかにするとともに、仮想キャラクター「ペルソナ」づくりの素材を検討しました。



## やまなしMiraiリーダー『SHINGEN』養成セミナー&ワークショップ :地域を活かす新たな手法と戦略 :ペルソナマーケティングの活用

第1回:平成28年11月16日、  
第2回、第3回:平成29年2月7日~2月8日

会 場 山梨県立図書館

参加者 大学、企業・団体等、第1回:24名、第2回:71名、第3回:34名

第1回:仮想の人物キャラクターを用いたマーケティング手法である「ペルソナマーケティング」の理論や具体的な活用事例を紹介しながら、これからの地域づくりやビジネスの現場において活用していくための方策について学びました。

第2回:やまなしが抱える課題を、仮想の人物像である「ペルソナ」を用いて「見える化」しました。

第3回:明らかになったやまなしの課題を解決し、将来幸せに暮らしていくために、我々が出来ることは何かを考えました。





フューチャーサーチ(Miraiプロジェクト)他

平成28年7月～平成29年3月

会場 県内各地

参加者 教職員：6名、受講生：41名、企業・団体：13組織

Miraiプロジェクトとは、企業や団体のニーズや課題に基づいて、学生と協働で行うことを前提に設けられたプロジェクトです。学生は、これらのプロジェクトに「社員」として参加し主体的に活動していきます。こうした活動を通じて、学生は社会との新たなつながりを築くと同時に、社会で役に立つ実践力を身につけることが出来ます。

今年度は、「フューチャーサーチ」、「地域実践入門Ⅱ」及び「国際理解演習」の3つの科目により、合計10のMiraiプロジェクトを設け、41名の学生がプロジェクトに参加しました。

平成28年度 Miraiプロジェクト一覧



**FAAVOやまなし  
サポート・プロジェクト**

連携先：株式会社山梨日日新聞社・山梨放送(甲府市)、地元事業者／担当教員：山梨大学 特任教授 澤 伸恭、山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**山梨データサイエンティスト  
育成プロジェクト**

連携先：株式会社ATLシステムズ(甲府市)／担当教員：山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**Be Open カンファレンス  
企画実施プロジェクト**

連携先：Be Open協議会(甲府市)／担当教員：山梨県立大学 准教授 兼清 慎一、山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**山梨市「婚活スタイル」  
プロジェクト**

連携先：山梨市役所(山梨市)／担当教員：山梨大学 特任教授 佐藤 文昭、山梨学院大学 教授 今井 久



**ロボット「Pepper」の  
新たな活用提案&  
「ロボアプリ」開発プロジェクト**

連携先：株式会社シー・シー・ダブル(甲斐市)／担当教員：山梨大学 特任教授 佐藤 文昭、山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**やまなし若者みらい探し  
プロジェクト**

連携先：株式会社ネオスペース(甲府市)、地元事業者／担当教員：山梨大学 特任教授 佐藤 文昭、山梨学院大学 教授 今井 久



**カタコト英語  
プロジェクト**

連携先：株式会社山梨中央銀行(甲府市)、地元小売店、飲食店など／担当教員：山梨英和大学 教授 黒田 浩司、山梨英和大学 准教授 韓 曉宏



**“JOIN TO JIT”  
学生とジットをつなぐプロジェクト**

連携先：ジット株式会社(南アルプス市)／担当教員：山梨大学 特任教授 澤 伸恭、山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**「英語でYamanashiをPR」  
プロジェクト**

連携先：三和製紙株式会社(市川三郷町)、株式会社印傳屋上原勇七(甲府市)、株式会社デジタルデビジョン(甲府市)／担当教員：山梨県立大学 准教授 兼清 慎一、山梨英和大学 准教授 杉山 歩



**「企業のPRをあなたの手で」  
プロジェクト**

連携先：三和製紙株式会社(市川三郷町)、株式会社菱和園(甲府市)、株式会社デジタルデビジョン(甲府市)／担当教員：山梨県立大学 准教授 兼清 慎一





地域教養 / 教育プログラム

## ソーシャルデザイン入門

平成28年9月12日～15日

会場 山梨県立図書館 他

参加者 教職員:3名、受講生:10名、企業:1名 合計14名

ソーシャルデザインの基本技能であるインタビューの技法を体得するのがねらいです。授業の導入として2日間、ワークショップを行いました。3日目は、学生が互いにインタビューをし合い、その様子をビデオで撮影し、言葉のやり取りやその時の表情を振り返りました。4日目は、若手起業家のオフィスを訪ね、「社会とは、仕事とは、自分とは」をテーマに2時間以上にわたって学生全員によるリレーインタビューを行いました。5日目は、2回のインタビューの経験から、言葉を発した時、言葉を受け取った時の「思考」や「感覚」の振り返りを行いました。最後に学生全員が「それぞれのソーシャルデザイン論」を発表しました。「言葉」を丁寧に使うこと、その感覚を大切にすることが他者とのコミュニケーション、ひいてはソーシャルデザインの第一歩であることを学生共々実感できました。大学、学部、将来の夢など、異なるバックグラウンドをもつ学生どうしの議論が活発で、“気づき”の多い授業となりました。



地域教養 / 教育プログラム

## オンデマンド教材試作

平成28年9月～平成29年3月

会場 山梨県立大学

参加者 教職員:3名

「ソーシャルデザイン入門」のオンデマンド教材の試作を行いました。オンデマンド教材は複数の大学が乗り入れるCOC+の授業プログラムに必須の教材と位置付けられています。本試作は「ソーシャルデザイン入門」のガイダンス部分の教材として、今年度の初回の講義をベースに作成しました。出演は講師2人で聞き手の教員のガイドにより進行するスタイルで収録しました。試作にあたっては2つの問題意識(①受講者の興味を引く仕掛けを作れるか②制作する教員側の負担を軽減できるか)を持って制作しました。講師が一方的に語りかける講義スタイルではなく、対話形式にすることによってライブ感覚を演出し、講師の講義録準備の負担軽減も図りました。聞き手が受講者になり代わって問いかけをするスタイルをとることにより、受講者が参加している感覚を持ってもらえるようにしました。講義のポイントは、編集によりパワーポイントや文字スーパーを画面に挟み込むことでわかりやすく提示しました。





## 地域実習(大月短期大学)

平成28年5月～平成29年2月

会場 大月短期大学、大月市内、笹一酒造

参加者 教職員:1名、受講生:30名、企業・団体等:11名 合計42名

東京在住の方をターゲットに、酒米の田植え、稲刈り、酒造りの見学、ラベルデザイン等の日本酒づくりに関わる通年型の体験型観光サービスを実施。年間通して計8回の体験イベントを通じて、「私のお酒」を完成。地域実習の学生は、観光プログラムの企画・運営に携わりました。また、短大のオリジナル日本酒の企画・販売も実施しました。

学生は、地域課題を解決するための実践的な思考力を修得することができました。

また、産官学のプロジェクトにより観光サービスの原型を組成することができました。短大オリジナル日本酒「つきたん」を2月より販売し、3月中旬現在、800本程度の販売実績があり、経済的な効果を発揮しました。



## ツーリズムコースみらいサロン

平成28年7月2日

会場 笛吹市役所

参加者 教職員:3名、受講生:約40名  
自治体、企業・団体等 合計約50名

『大学生観光まちづくりコンテスト2016』では、峡東3市(笛吹市・山梨市・甲州市)を対象とした提案を募集し、7月2日(土)にエントリー・チームを対象とした、現地見学会及び自治体担当者へのヒアリングを行いました。

その際に、観光に関心のある大学生間の交流を深めるとともに、県内大学生と山梨の魅力やそれを活かした観光について意見交換を行いました。





## 県・市町村・大学間の連携による 中山間地域活性化推進の先進地調査

平成28年8月2日～8月4日

会 場 島根県、島根定住財団、雲南市、島根大学

参加者 教職員：2名

人口減少と少子高齢化が全国に先行して著しく進行してきた先進地島根県を対象として、県・市町村・大学が相互に連携して取り組んでいる中山間地域の活性化推進の成果と課題を探り、山梨県における県・市町村・大学間の連携の向上に寄与することを目的としました。

第1日目及び2日目は、雲南市地域振興課及び島根大学でのヒアリング調査を実施。

第3日目は、島根県しまね暮らし推進課及びふるさと島根定住財団でのヒアリング調査を実施しました。



島根に住むこと、応援します、支えます！  
公益財団法人  
ふるさと島根定住財団



## 地域課題総合研究(山梨学院大学)

平成28年度後期

会 場 山梨学院大学、笛吹市内、笛吹市役所

参加者 教職員：2名、受講生：24名、自治体：2名、企業・団体：1名  
合計29名

笛吹市とタイアップして、笛吹市が持つ課題の一つである「移住・定住の促進」に取り組みました。まず、やまなし暮らし支援センター倉田貴根氏、笛吹市経営企画課移住定住担当の野崎進氏、笛吹市地域おこし協力隊木村氏から現状や課題の基礎情報の提供を受けました。その後、受講生が4つのグループに分かれ、笛吹市内の移住者に対してインタビュー調査を実施しました。その後、グループごとに移住・定住の促進の提案を議論し、最後は、笛吹市役所において、笛吹市の職員らにプレゼンテーションを行いました。







## ものづくりコース専門科目「実践ものづくり実習」の開講

平成28年4月15日～7月29日(前期開講)、10月7日～2月3日(後期開講)

会場 山梨大学工学部附属ものづくり教育  
実践センター・ものづくりプラザ

参加者 教職員、受講生：46名(前期開講)、37名(後期開講)

地域の魅力を体感する1年次対象ものづくりコース専門科目「実践ものづくり実習」を開講しました。この実習では、山梨の伝統工芸「雨畑硯・甲州印伝・甲州手彫り印章・西嶋手漉き和紙」を含む計6課題を半年間で学びます。印伝では、CADでデザインしレーザー加工で型紙を作成し地元企業にて漆塗りを実施しました。西嶋手漉き和紙は、和紙職人の笠井伸二氏に指導をして頂き、和紙の新しい利用法などを考えました。実習中に異なる課題を相互に見学して山梨のものづくりに関して理解を深めました。また受講生中26%は女子学生で、これは工学部の女子学生の割合(15%)より多くなっています。本実習によりものづくりに興味を持ち、今後は専門性を高める教育を行います。



雨畑硯



甲州手彫り印章



印伝のデザイン



西嶋手漉き和紙



電子工作



## マイハウスキックオフ

平成28年11月8日

会場 山梨大学東キャンパスA2号館A2-21教室

参加者 教職員：5名、受講生：25名 合計30名

平成28年度後期からマイハウスプランに参加し、「COC+やまなし未来創造教育プログラムものづくりコース」に登録した1年生(25名)の研修会と交流会を兼ねてキックオフイベントを開催しました。所属ハウスごとに活動内容や目標について互いに紹介し、「積極的に活動したい」等の抱負が聞かれました。今後、同コースの専門科目「キャリア形成実習1～4」の履修・単位取得を目指します。

マイハウスの開始をもって本年度のものづくりコース履修登録者が確定し、138名(工学部1年生の35%)と非常に多くの学生が登録を行いました。次年度も引き続き多くの学生に周知を行います。



マイハウスプラン参加学生集合写真



ハウスの紹介プレゼンの様子





## 第6回サイエンス・インカレ視察

平成29年3月4日、5日

会場 筑波大学 筑波キャンパス

参加者 教職員：3名、受講生：4名 合計7名

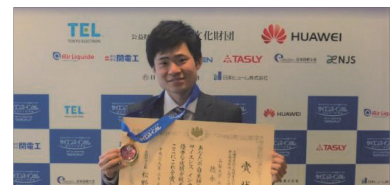
理系の大学学部生等を対象とした全国規模の自主研究の研究発表会を視察しました。241題の応募から書類選考により採択された口頭発表部門46題、ポスター発表部門134題が発表されました。山梨大学工学部土木環境工学科3年生 徳永 翔さん(キャリアハウス「地域防災・マネジメント」所属)が、研究題目「土壌硬度計の高精度化による斜面崩壊発生機構解明に関する研究」についてポスター発表を行い、ポスター発表部門の最優秀賞である「文部科学大臣表彰」を受賞しました。視察に同行したコース登録学生にとっても先輩の快挙は、良い刺激となりました。



ポスター発表した徳永さんと聴講したものづくりコース登録学生(右)



ポスター発表会場の様子



「文部科学大臣表彰」を受賞した徳永さん



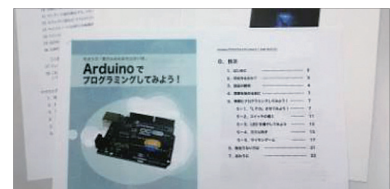
## 他大学での地域貢献・地域への就職に関する調査

平成29年2月15日、2月17日、2月20日、3月30日～31日

会場 名古屋工業大学(2/15)、筑波大学(2/17)、群馬大学(2/20)、  
富山大学(3/30)、新潟大学(3/31)

参加者 教職員：10名

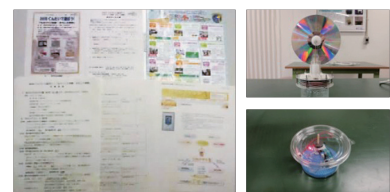
各大学において地域貢献や就職に関して視察・意見交換を実施しました。地元出身者が多い名古屋工業大(60%程度)、群馬大(78%程度)はやはり就職先も地元が多い傾向とのことでした。一方で県内出身者が15%程度の筑波大学はほとんどが県外に就職しているとのことでした。また各校とも100人規模の小中高校生向けイベントを開催しており、共催・後援として地元教育委員会・新聞社・学協会の支援を受けており、このような活動が大学の地域への知名度アップにつながっているようでした。ものづくりコースにおいても、将来的に地元山梨からの入学者増加に繋がるイベントを検討していきます。



筑波大イベント資料



名工大チラシなど



群馬大イベント資料とサンプル



## 「子育て支援コース」みらいサロン

平成28年6月10日

会場 山梨県立図書館

参加者 教職員：7名、自治体：4名、企業・団体等：5名 合計16名

「いま子育て支援に求められる人材(スキル)とは?」と題し、自治体、事業者と大学関係者との対話の場として実施しました。

事業者からは、自己中心的かつ理不尽な要求をする親が増えている、また、朝食を摂らない児童が増えているため、このような親を対象とした研修会を開いていただきたいとの要望がありました。また、大学には、このような親にならないよう、学生の指導をお願いしたいとの要望がありました。



## 子育て支援施設見学バスツアー

第1回 平成28年9月8日、第2回 平成29年2月27日

会場 第1回：竜王ふれあい館、御坂児童センター、  
山梨英和プレストンこども園、山梨英和大学  
第2回：ますほ児童センター、産前産後ケアセンター、  
山梨英和大学

参加者 教職員、受講生等、第1回：34名、第2回：22名

子育て支援に興味・関心のある学生を対象として2回実施しました。

見学先では、管理者から施設概要の説明を受け、また、乳幼児や幼児と触れ合うことができ、学生にとっては有意義な体験となりました。

見学後、学生をグループ分けし、感じたことや自分たちにできる子育て支援についてディスカッションを行い、グループごとに発表を行いました。





## 宮崎市の子育て支援の取り組みに関する視察・研修

平成28年2月13～14日

会場 宮崎市

参加者 教職員：6名

本視察の目的は、多くの先進的取り組みを導入している宮崎市の子育て支援制度について学び、山梨県における実践の参考にすることでありました。2日間で「赤ちゃんの駅」を推進するみやざき子ども文化センター、家庭訪問型子育て支援を推進するドロップインセンター、子どもカフェを運営する生目台地域事務所、子育て支援に取り組むダンス教室SSプロジェクト、高齢者や大学生の参画する子育て支援に取り組む清武児童文化センターを視察したほか、それらを統括する宮崎市役所子育て支援課の聞き取りを行いました。



ドロップインセンター  
権現地域子育て支援センター



SSプロジェクト ダンスアカデミー



清武児童文化センター



## 子育て支援の新たなニーズに関するアンケート調査

平成28年12月5日～平成29年1月25日

会場 山梨県内

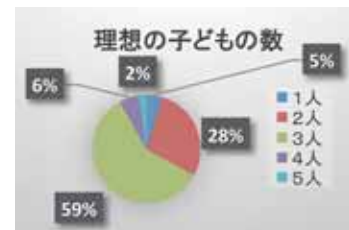
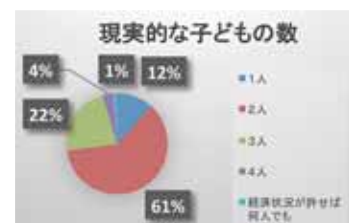
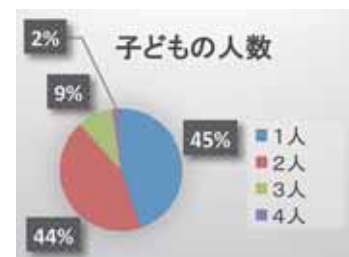
参加者 山梨県内在住の子育て中の保護者 合計85名

### 目的

県内の子育て支援の現状について把握し、その上でどのような課題があり、新たにどのような活動内容や人材が求められているのかを明らかにすること。

### 結果

- 30代の子育て世代では、子ども3人が理想だが、現在の生計では2人が限度
- 行政には、養育費などの補助や遊び場の提供、子育て全般の情報が提供できるコンシェルジェの設置
- 人材育成には、子どもや保護者の心理面などを理解できる専門知識がある子育て経験者を要望







## 第3・4回みらいサロン CCRC入門セミナー CCRC研修会

平成28年7月25日、10月31日、  
平成29年3月12日、3月28日

会場 山梨英和大学 大会議室・101教室、身延町役場等

参加者 教職員：6名、受講生：65名、自治体：9名、企業・団体：20名  
合計100名

みらいサロンを2回、CCRC入門セミナー、CCRC研修会を1回ずつ開催しました。第4回みらいサロンでは山上俊彦氏による講演「行動誘導技術で考える地域密着マーケティング」を基に意見交換し、行動誘導技術を用いて地域ブランディングを展開してゆく可能性について討論を行いました。CCRC入門セミナーではCCRCおよび移住促進の基礎を概説したのち、先進地域に選定されている都留市の計画について説明を受けました。大学、自治体、企業が連携してCCRCについて考える場となりました。CCRC研修会では横浜市立大の鈴木伸治教授が「超高齢化社会のまちづくり」について講演を行い、意見交換を行いました。



## 小菅村視察バスツアーとPBLの試行

平成29年2月17日、平成29年2月27日

会場 小菅村、山梨英和大学 I commons

参加者 教職員：8名、受講生：26名、企業：1名 合計35名

近年、移住者を多く迎えている小菅村を視察し、その体験をもとにPBLの試行をしました。小菅村の概要の説明を受けた後、村内一周ツアーをおこない、小・中学校、道の駅、高齢者の医療福祉サービスなどを見学し、移住をした方のお話を直接うかがいました。後におこなったPBL(Problem Based Learning)の試行ではコミュニケーション力を高めるワークをしながら、参加者が想定した3つの課題の解決の方法をディスカッションし、課題対策案をまとめて発表しました。





CCRC / バーチャルLAB

## 奥能登視察、近江八幡市視察、愛知視察

平成28年9月5日～6日、平成29年3月17日～18日、  
3月23日～24日

会 場 能登町定住促進協議会、春蘭の里、日本海倶楽部、近江八幡市等

参加者 教職員：7名

奥能登視察では能登町定住促進協議会、春蘭の里、日本海倶楽部を見学し、移住促進の成果や農村活性の成果を視察しました。農村活性では多数の修学旅行生を受け入れており、外国人観光客の評価も高いものでありました。日本海倶楽部は過疎地域における障がい者支援のあり方を視察しました。近江八幡は大阪・京都に近く、「静かな水辺に暮らす」安寧のまちづくりの基本構想を策定しており、その事業計画について視察しました。愛知では多世代交流を実践しているゴジカラ村を視察しました。



CCRC / バーチャルLAB

## CCRCに対する山梨県民の意識調査、 移住者に対するインタビュー

平成28年12月、平成29年1月～3月

会 場 山梨県立図書館、山梨英和大学 K commons 他

参加者 教職員：7名、企業・団体：4名 合計11名

移住者の増加やCCRCについての山梨県民の意識調査を行いました。WEBアンケートにより収集された500名のデータを分析し、幸福度やその要件、移住者に対する意識を分析しました。この結果はバーチャルLABにおいて、さらに分析を行い、ペルソナマーケティングの手法を用いてペルソナを2体作成しました。また、山梨県内に移住した8名にインタビューを行い、山梨県に移住をした経緯、山梨の良いところ、良くないところ、移住をするにあたって困ったことなどについて半構造化面接を行い、移住を促進するにあたって整えるべきこと、留意すべきことについてデータを収集しました。



## 「FAAVOやまなし」みらいサロン及びWS／「FAAVOやまなし」の運営

平成28年6月16日～平成29年3月10日(計11回)・運営は年度中全期間

会場 山梨県立図書館 他

参加者 みらいサロン及びWS合計:352名

クラウドファンディングサイト「FAAVOやまなし」の運営を通じて、平成28年度では、新事業創出、地域課題の解決などを目的とするプロジェクト14件の起案・達成支援を行いました(うち5件は学生及び教員による起案)。これらのうち、13件のプロジェクトで目標を達成することができ、新事業創出、地域課題の解決に向けた実質的な支援を行うことができました。

また、FAAVOやまなしみらいサロンやFAAVOやまなしのプロジェクト起案ワークショップを合計11回開催し、地域において新事業創出、地域課題の解決に挑戦する環境を醸成しつつあります。

さらに、未来計画研究社のプロジェクトとして、FAAVOやまなし運営サポートチームの学生が、「FAAVOやまなし」のプロジェクトの起案や起案後の達成支援、FAAVOやまなしみらいサロンやFAAVOやまなしのプロジェクト起案ワークショップの運営や運営支援を行いました。



<p>やまなし 焼畑をテーマパークに!? 高岡市で日本初の焼畑キャンプイベントを聞きたい!</p> <p>集まっている金額 残り 666,000円 終了</p>	<p>やまなし 自然栽培農家の究極の天然醸造手づくり味噌を味わってみませんか?</p> <p>集まっている金額 残り 1,550,000円 終了</p>	<p>やまなし 車いす利用者が考慮にこれで生活圏拡大『のぼれーる』と『お手伝いOKの店』</p> <p>集まっている金額 残り 560,000円 終了</p>	<p>やまなし 福島の子も遠く山梨に招待! 自然の中で思いっきり遊んでほしい!</p> <p>集まっている金額 残り 449,500円 終了</p>
<p>やまなし 【学校を元気に!】Edcamp都留で山梨の教育に新しい風を!!!</p> <p>集まっている金額 残り 345,000円 終了</p>	<p>やまなし 学生主催の参加型プロジェクト! SNSでやる次世代フォトコンを開催したい!</p> <p>集まっている金額 残り 119,000円 終了</p>	<p>やまなし 甲府の誇れる地域資源「横丁」の魅力を発信し、中心市街地を活性化させたい!</p> <p>集まっている金額 残り 650,000円 終了</p>	<p>やまなし 【ゆず味噌×金箔】黄金の五平餅で富士川町を活性化したい!</p> <p>集まっている金額 残り 69,000円 終了</p>

FAAVOやまなし URL:<https://faavo.jp/yamanashi/>

平成28年度実績: 13件成功 / 14件起案 調達金額合計: 636万円



## 情報発信への取組

### やまなしアカデミックポータルサイト

教育プログラムの概要や担当教員の紹介、クラウドファンディングサイトFAAVOやまなしやfacebookページへのリンクなど、本事業に関する内容をまとめたWEBサイト「やまなしアカデミックポータルサイト」を設置しました。



やまなしアカデミックポータルサイト  
URL:<http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp>



facebook  
URL:<http://www.facebook.com/yamanashi.cocplus/>

### ニュースレター

本事業の取組内容やイベント情報などをお知らせするために、平成28年2月より、「COC+マンスリーニュースレター」を配信しています。このニュースレターは「やまなしアカデミックポータルサイト」からダウンロード出来ます。



# 組織概要

## 山梨大学地域未来創造センター

地域未来創造センター(Center for Future Community Planning)は、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」及び「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」を推進し、地域再生・活性化を担い世界につながる産業の展開に貢献することができるとともに、併せて地方公共団体や企業等と協働し、新規事業の創出などを通じ学生にとって魅力ある地域の就職先の創出・開拓等により、学卒者の地元定着を図ることを目的としています。大学シーズの活用による地域創生、地域貢献をCOC及びCOC+の両事業を通じて行うことで、組織体制の強化による情報共有、相互協力により、目的達成を図ります。



### Member

センター長

**北村 眞一 教授**

COC+部門長

**坂本 康 教授**  
(生命環境学域)

COC+推進コーディネーター

**佐藤 文昭 特任教授**  
(地域未来創造センター COC+部門)

COC+推進サブコーディネーター

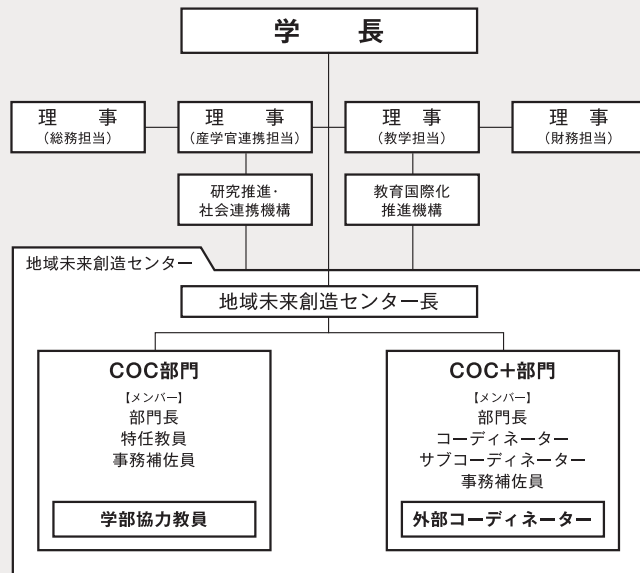
**澤 伸恭 特任教授**  
(地域未来創造センター COC+部門)

Miraiプロジェクトコーディネーター

**杉山 歩 特任准教授**  
(地域未来創造センター COC+部門) (平成29年度~)

COC+推進サブコーディネーター

**佐野 靖彦 特任助教**  
(地域未来創造センター COC+部門)



## 山梨大学地域未来創造センターCOC+部門

TEL:055-220-8450 FAX:055-220-8702 E-mail:cocplus-info@yamanashi.ac.jp

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

【WEB】 <http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp> 【facebook】 <http://www.facebook.com/yamanashi.cocplus/>